

地域の仲間にサポートを

“私たちをいつも支えてくださっている地域の皆さまへお返しをする義務がある”。私たちのすべての活動は、マクドナルド創業者であるレイ・A・クロックのこの言葉が原点となっています。コミュニティの一員として子供たちの幸福な未来、そしてお客様や地域・社会の皆さまの笑顔を第一に考えながら、地域と共に成長し、子供たちの健全な成長を支える「食」「体」「心」を育む支援活動や地域貢献活動など、幅広い取り組みを積極的に行ってています。



教育支援

オリジナル教材「食育の時間+(プラス)」を通じた食育授業支援



https://www.mcdonalds.co.jp/sustainability/local/food_education_support/

教材を使った授業・指導実施回数

のべ**8,650回**

受講児童・生徒数

のべ**269,633名**

※ 2007年1月～2021年12月末までの判明数累計

2021 Topics

※ 2021年12月末現在

チャリティ

ドナルド・マクドナルド・ハウス支援
店頭募金、募金付きクーポンによる募金

総額 約**9,325**万円



<https://www.mcdonalds.co.jp/sustainability/local/dmhcj/>

キッズスポーツ支援

高円宮賜杯
全日本学童軟式野球大会
マクドナルド・トーナメント



全国約**11,000**チーム/
支援児童約**44**万人



<https://www.mcdonalds.co.jp/sustainability/local/baseball/>

JFA 全日本U-12
サッカー選手権大会



全国約**8,200**チーム/
支援児童約**33**万人



<https://www.mcdonalds.co.jp/sustainability/local/soccer/>

地域貢献

安全笛贈呈数

約**830,000**個



<https://www.mcdonalds.co.jp/sustainability/local/whistle/>

医療従事者の皆さまへの支援

のべ**125,329**セット

新型コロナウイルスの影響により大変な状況下で医療現場の最前線で日々闘つてくださっている皆さまへエールと感謝をお伝えするために、ご要望をいただいた自治体や協会・病院へマクドナルドで温かいお食事をお召し上がりいただけるよう、特別ご招待券の贈呈を昨年に引き続き実施しました。

献血活動への協力

地域の日本赤十字血液センターと協力し、一部店舗で献血バスによる献血活動を実施したり、献血に協力された方へ配布いただく「献血サンクスカード(ドリンクやマックフライポテト®の無料ご招待券)」を寄贈したりするなど、献血活動の促進に協力しました。



<https://www.mcdonalds.co.jp/sustainability/local/report/>

Community Connection

2021 Topics

コーヒー豆かすのリサイクルたい肥贈呈式とSDGs特別授業を実施

2016年から兵庫県姫路市内の8店舗でコーヒー豆かすをたい肥として再資源化しています。2020年からは香川県の農家と協働し、このたい肥を使用してレタスを栽培し、収穫したレタスを商品としてお客様へ提供する循環型リサイクルに取り組んでいます。

そして2021年、子供たちがより未来を見据え、環境問題に対して「自分に何ができるのか」を考える機会につなげてほしいと願い、SDGs未来都市*に選定された姫路市の豊富小中学校で「コーヒー豆かすのリサイクルたい肥贈呈式」と「SDGs特別授業」を実施しました。

*姫路市は「経済」「社会」「環境」の課題解決や新しい価値創造に向けて積極的に取り組む自治体として、内閣府より「SDGs未来都市」に2021年5月から選定されています。

 <https://www.mcdonalds.co.jp/sustainability/smilestory/003/>



ハッピーセット®のリニューアル

もっとファミリーに寄り添うブランドを目指して、ハッピーセットのリニューアルを行いました。

サイドメニューは、栄養バランスに配慮して2種類から4種類に拡充*1し、あ子様の成長や食事の機会にあわせて、より幅広い選択肢からお選びいただけるようにしました。また、おもちゃは、「遊び」や「体験」を通じて子供たちの健全な成長と発達をサポートする開発方針*2へ変更しました。

*1 新商品としておいしく栄養を摂っていただける「えだまめコーン」、腸まで届くビフィズス菌(BB-12)を使用した、ほんのり甘く爽やかな風味の「ヨーグルト」を追加、「サイドサラダ」を選択肢に追加

*2 文字、図形、数、論理的思考などだけではなく、身体能力や自然・科学への興味関心、想像力、創造力、表現力などを育むきっかけになることや、人や社会との関わり、日々の生活習慣に自立して取り組むサポートになることなどを意識した開発方針



<https://www.mcdonalds.co.jp/family/happyset/>

「みんなで! どう解く?」

2021年1月より、株式会社ボプラ社が発行する『答えのない道徳の問題 どう解く?』と協力して、子供たちの自由な発想や思考力を育むことをサポートする「みんなで! どう解く?」プロジェクトを開始しました。特設サイトでは小学校の授業で活用できるオリジナル教材やオリジナル自由研究キットなど様々なコンテンツを公開し、子供たちが楽しみながら取り組み、成長できる機会の提供に努めています。「みんなで! どう解く?」の教材は、2021年12月時点全国200校以上もの小学校で授業に取り入れられました。



<https://www.mcdonalds.co.jp/company/news/2021/0126a/>

Community Connection

地域社会の一員として取り組んでいる
様々な社会貢献活動をご紹介します。



ドナルド・マクドナルド・ハウス支援

マクドナルドは共に助け合う社会を目指したチャリティ文化の醸成と「ドナルド・マクドナルド・ハウス」の支援などを通じて“病気の子供とその家族”を笑顔にする活動に取り組んでいます。DMHは、自宅から遠く離れた病院に入院する子供とご家族のための“第二の我が家”をコンセプトに病院のすぐそばに建てられた滞在施設です。2021年12月時点で全国に11カ所あり、国内1号目となる「せたがやハウス」は2021年に開設20周年を迎えました。病気と闘う子供とその家族の笑顔のために、日本マクドナルドはハウスを運営するドナルド・マクドナルド・ハウス財団を設立当初から継続的に支援しており、全国すべての店舗に募金箱を設置しています。また、様々な活動を通じて、より多くの方たちが気軽にチャリティに参加いただけるよう取り組んでいます。お寄せいただいた募金や寄付は、すべて「ドナルド・マクドナルド・ハウス財団」へ寄付させていただき、ハウスの運営や建設などに使われています。



<https://www.mcdonalds.co.jp/sustainability/local/dmhc/>



ドナルド・マクドナルド・ハウス・
チャリティーズ・ジャパンHP
<https://www.dmhcj.or.jp/>

マックハッピーデーと DMH支援チャリティラン＆ウォークが初の同日開催

各国のマクドナルドがその国の子供たちの幸せを願い、長年展開しているグローバルチャリティ活動「マックハッピーデー」を2021年11月21日(日)に実施しました。日本マクドナルドではこの日のハッピーセット®お買い上げ1つにつき、50円をハウスを運営する「ドナルド・マクドナルド・ハウス財団」へ寄付させていただいています。2021年は「DMH支援チャリティラン＆ウォーク」イベントも同日開催され、店舗だけでなく、日本各地で多くの皆さまがチャリティに参加され、笑顔の輪が広がる日となりました。

キッズスポーツ支援

これからの将来を担う子供たちの心と体の健全な成長を願って、
スポーツを頑張る子供たちを支援しています。



<https://www.mcdonalds.co.jp/sustainability/local/baseball/>

学童野球

高円宮賜杯 全日本学童軟式野球大会
マクドナルド・トーナメント



“小学生の甲子園”とも称される歴史ある大会を、マクドナルドは1986年からサポートしています。2021年大会は、新潟県で2年ぶりに開催されました。

無観客での開催となりましたが、客席に巨大応援メッセージを設置したり、元メジャーリーガー・上原浩治選手に登場いただきたりと、選手児童たちを応援するための取り組みを行いました。初の大会公式テーマソングとなった『ダイヤモンド』は、スポーツで夢を追いかける人たちへの応援メッセージや、熱いエピソードを募集し制作したものです。ほかにも、2021年も支援活動の一環として、小冊子『野球プレイヤーブック2021』を大会登録チームに所属する選手44万人に配布しました。

小学生のサッカー

JFA 全日本U-12サッカー選手権大会



12歳以下の選手で構成される全国のチームが出場を目指し、数多くのJリーガーや日本代表選手を輩出している日本最大規模の小学生サッカー大会を、2011年からサポートしています。

また2021年も支援活動の一環として、小冊子『サッカープレイヤーブック2021』を大会登録チームに所属する選手33万人に配布しました。



<https://www.mcdonalds.co.jp/sustainability/local/soccer/>



Community Connection



<https://www.mcdonalds.co.jp/sustainability/local/>



教育支援

子供たちの笑顔をより豊かにするために、様々な学びの機会を提供しています。

食育支援

子供たちが楽しく食べる喜びを知り、食に関する正しい知識と習慣を身に付けてもらいたいという願いから食育支援を行っています。

2005年に小学生向けオリジナルデジタル教材「食育の時間」を開発して以来、「食」を提供する企業の責務として継続して教育現場の食育授業を支援しています。「食育の時間+(プラス)」教材(2019年にフルリニューアル)は、正しい手洗いや衛生管理、SDGs教育にもなる食品ロスなどを含む、食にまつわる7つの基本が学べる内容で、ウェブサイトで公開しています。

また教材提供だけにとどまらず、「食育授業支援事務局」を設置し、教材コンテンツを収録したDVD付き指導案の配布や道具の貸し出しなど、先生方の授業づくりのサポートも無償で実施しています。

家庭でも食育を学ぶ機会をご提供するため、夏休み特設サイトを期間限定で開設し、「食育の時間+」教材を活用した自由研究ができるオリジナルフォーマットの提供も行っています。2021年は親子向けのオンラインイベントを初開催し、夏休みの子供たちへ向けたさらなるサポートを実施しました。



ハロードナルド!

未就学児と小学校低学年を対象に、子供たちの日常生活に必要な「食育」「交通」「防犯」「環境」などのルールやマナーを伝える「教育支援プログラム」を全国で実施しています。新型コロナウイルスの影響による大勢が集まつての実施が難しい状況に対応して、2020年以降は子供たちに向けたドナルド・マクドナルド出演動画を制作し、公式ウェブサイトや公式YouTubeで公開しています。

キャリア教育支援

マクドナルドの人を育てるノウハウや業態を活かし、幼児から小学校、中学校、高等学校と子供の成長段階に応じて、食育や店舗実習といった様々な教育支援プログラムを用意しています。

地域貢献活動

「あなたの街と共にマクドナルド」として、安全で安心な活気のある街づくりを目指した地域貢献活動を行っています。

子育て支援

国と地方自治体が推進する「子育て支援パスポート事業」に協力しており、各都道府県が発行している「子育て支援パスポート」を全国のマクドナルドでご提示いただくと「チーズバーガーのハッピーセット®」を特別価格でお召し上がりいただけます。

※朝マックの時間帯(10:30まで)は「チキンマックナゲット®のハッピーセット®」を特別価格でお提供。

美化活動

全国各地の店舗で継続した地域美化の活動を実施しています。また、行政や市民団体主催の清掃活動にも積極的に参加し、地域の皆さんと共に、美しい街づくりに努めています。

※2021年に「クリーンパトロール」から「美化活動」へと名称変更しました。

●デリバリーバイクでの見守り

地域の見守り活動を強化するために、2021年7月から兵庫県内のマクドナルド全143店舗で、デリバリーバイクが「こども110番のバイク」として活動を開始しました。



安全安心を守る取り組み

●こども110番の家

地域の警察本部等と協力して、地域の子供たちの安全を守るために、子供が危険に遭遇した際や困ったことが起きた際などに、マクドナルド店舗に駆け込んで助けを求めることができる「こども110番の家」の活動を推進しています。2021年12月末時点、2,260店舗で掲出しています。



●安全講習会 (デリバリーバイク・自転車)

地域の警察署と連携して交通安全強化に取り組んでいます。商品をお届けするマックデリバリーのスタッフが交通安全講習会に参加し、運転ルールや事故の発生事例などの交通安全に必要な知識を学んでいます。